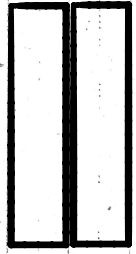


視点に着目して本文を読む。

登場人物



この二人を中心に物語が進みます。

視点とは？

↓語り手がその作品をどこから見て語っているか。

それぞれ水の視点でしょうか。

1の場面 ↓ 

2の場面 ↓ 

◎それぞれの視点で二人の心情が伝わるように音読

しましょう。へ各視点一回ずつ

◎昼休みにどんなことがあったのか、二人の視点で書きましょう。

律 ↓

周也 ↓

(一文程度)

◎二人の人物像は、それぞれ本文のどの部分から分かるでしょうか。書き抜きましよう。

☆考えよう

律 ↓ おくびょう

優柔不断

落ち着きよゆう

周也 ↓ あわてんぼう

友達思い

たくましい堂々としている

参考にして書きましよう

◎二人の人物像についてそれぞれ考えましよう。

律 ↓

周也 ↓

視点のちがいに着目して、律と周也の人物像について考えましよう

人物像につながる言葉

おっとり・マイペース・優柔不断・控え目・気弱・消極的

臆病・穏やか・友達思い・明るい・活発・おちこちない

あわてんぼう・おしゃべり・正直・落ち着きがない・友達思いなど

◎その後の二人の関係について考えて書きましよう。
 (例)この後、二人は○○な関係になると思いますが、「周也」が「律」の言葉を受け止め、□□に感じたからとす。

◎例の下段にある観念の例を参考にし、「帰り道」を
 読んで感じたり考えたりしたことをノートにまとめましよう。

(百字程度)

天気雨の後	天気雨の前	律
		周也

律と周也の心情がどのように変化したらかを考え、その後
 の二人の関係を想像しよう。

◎律と周也の心情がある出来事の前後で大きく変わります。
 その出来事を三文字で書きましよう。

◎律と周也の心情の変化を表にまとめましよう。